

令和5年度学校評価アンケート(前期)結果

霜降の候、平素は本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。令和5年度前期学校評価アンケートを実施しましたので、結果と分析についてお知らせいたします。



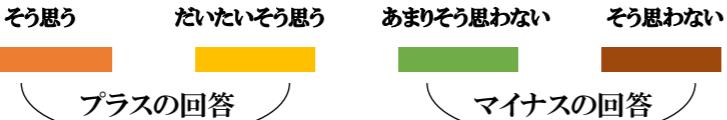
学校教育目標 自ら学び 共に励み 志をもって 未来を拓く 子どもの育成 ～かしこく やさしく たくましく～

めざす生徒像

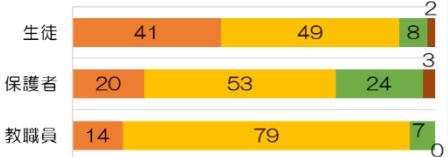
かしこく 確かな学力を身に付け、志をもって、主体的に自己実現と問題解決に取り組む生徒

たくましく 心身の健康維持と体力向上に向けて努力し、調整しながら明るく粘り強く取り組む生徒

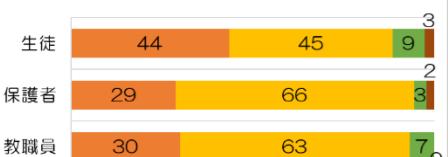
学校全体について



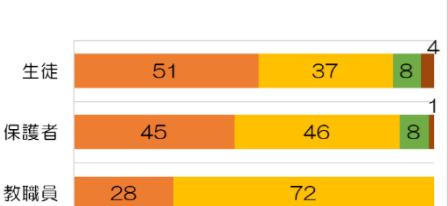
1.自分の目標(めあて)を決め、それに向かって活動していますか



2.色々な学校の取組(行事も含む)は自分の役に立っていますか



3.学校は楽しいですか



「1. 自分の目標を決め、それに向かって活動していますか」

生徒の「そう思う」「だいたいそう思う」(以下、プラスの回答)は、90%と昨年度と同程度でした。「そう思う」の回答だけに着目すると41%となっており、生徒は、学級目標や1学期の目標等に向かって努力していることがうかがえます。日々の授業でも学習のはじめにめあてを確認し、学習の終わりに振り返りができる時間を設定しています。目標を達成したときには賞賛を惜しまずにしていきたいと思います。

「2. 色々な学校の取組は自分の役に立っていますか」

でもプラスの回答が約9割となっています。日々の学習や行事、また、生徒会、委員会等の活動は、事前準備などの学習や、取組後の振り返りを通して、自己の成長や人間関係の深まりを感じられるようにすることが重要だと考えています。生徒が取り組んできたことに手ごたえを感じ、結果を振り返ったときに「やってよかった」「自分のためになった」と思えるように振り返りの活動を工夫していきたいと思います。

「3. 学校は楽しいですか」

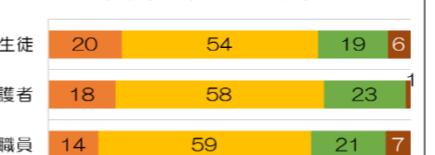
ではプラスの回答が約9割となっています。学校が楽しいということは、自分の成長を感じることや、良好な人間関係、または学習活動にやりがいを感じることであると考えています。しかし、マイナスの回答をした生徒が12%いることも事実です。困りがないか、変わったところはないなど、小さなことにも気付けるようにしていかなければなりません。これまで制限されていた教育活動も、生徒が生き生きと活躍できる機会が増えてきました。活動を進めていくと、一定の成果や新たな課題が見られるようになってきています。今後も全教職員が一丸となって生徒に寄り添い、温かく見守り、生徒が「学校は楽しい」と思えるように努めていきたいと思います。

確かな学力の育成について

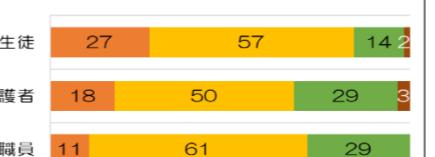
4. 授業中、先生や友達の話をしっかりと聞いていますか



5. 授業などで自分の意見を周りにわかりやすく伝えていますか



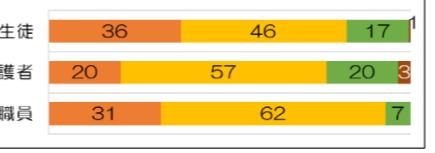
7. 文章や資料などを読み解き、自分の考えをもてていますか



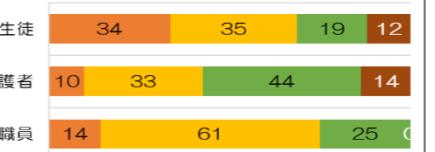
9. 友達と話し合って学習することは、自分のためになっていると感じますか



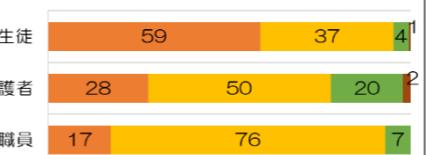
6. むずかしい課題でも、すぐにあきらめずにねばり強く取り組んでいますか



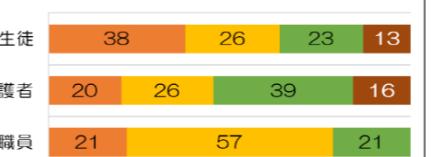
8. Kノートや予定表などを使って、計画して行動できていますか



10. タブレットのよさを正しく理解して、学習で活用できていますか



11. 普段から学校や家で、読書をしていますか



「4. 授業中、先生や友達の話をしっかりと聞いていますか」

では生徒の90%以上は話を聞いているとプラスの回答で、一定の成果が見られたと感じております。教職員は、生徒が話をしっかりと聞けるように授業改善をしたり指導者自身が学習の振り返りをしたりしています。

「5. 授業などで自分の意見を周りにわかりやすく伝えていますか」

では74%「7. 文章や資料などを読み解き、自分の考えをもてていますか」

「9. 友達と話し合って学習することは、自分のためになっていると感じますか」

では94%の生徒がプラスの回答でした。9の質問からは、話し合いながら集団解決していく事は、生徒自身が自分のためになっていると感じていることが分かりました。

しかしながら、自分の考えをもつことや、考えを伝えることに関わる5と7の質問は9の質問よりもプラスの回答が低くなっています。これまででも、生徒は授業での発言やグループ学習での発表などは多く経験していますが「伝える」ということに自信が持てなかったり、「読み解く」「考えをもつ」ということに難しさを感じたりしていることがあるかもしれません。

5の質問の「伝える」に関わっては相手意識が大切であると考えています。

1stステージでは「はっきり、ゆっくり、大きな声」で話す指導、「こえののさし」の活用、2ndステージ、3rdステージでも場に応じた話し方等の指導を今後も継続して行います。また、発表、プレゼンテーション等も、内容の精選、見せ方、聞き方などの工夫を指導していく必要があると考えます。7の質問は、本年度、重点を置いて指導している読み解力にも関わっています。語句や文章から書かれていることを理解することや、資料から情報を得て分析や考察するために、キーワードやポイントなどに気付ける力を育成していくたいと考えています。

「6. むずかしい課題でも、すぐにあきらめずにねばり強く取り組んでいますか」

プラスの回答をした生徒は82%でした。おおむね生徒はねばり強く学習活動に励んでいます。苦手なことや未経験、新しいことについてもチャレンジできるように、励まし合える人間関係が形成できるように見守り、必要であれば支援していきたいと思います。

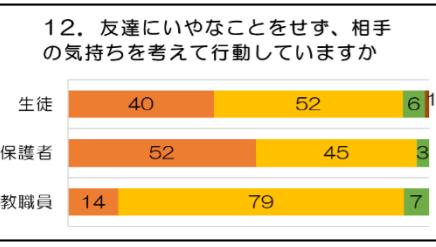
「8. Kノートや予定表などを使って、計画して行動できていますか」

生徒は69%、保護者は43%がプラスの回答で、保護者の半数以上は計画して行動できていないとの結果になりました。低学年については、まだ計画する事は難しく、出された課題をするということが多く、計画的にしていくとは感じにくいかと思います。学年が進むにつれて、予定を計画していくことは大切になります。下校前の時間を使ってKノートや毎週の予定表に予定を書き込んだり、家庭学習をチェックしたりできるようにしています。ご家庭でも宿題や次の日の準備等ができるように声かけをしていただけるとありがたいです。

「11. 普段から学校や家で、読書をしていますか」

生徒の36%がマイナスの回答をしています。学年が上がると、通常の学習、部活動などやらなければならないことが多い、読書の時間を確保することが難しいのではないかと考えています。読書は、楽しみとしてだけではなく、知識の獲得や問題解決、時には偉人と対話など、人生を豊かなものにしてくれるものもあります。忙しい中でも合間に見つけて、学校図書館を活用する等し、充実した読書活動をしてほしいと思います。

豊かな心の育成について

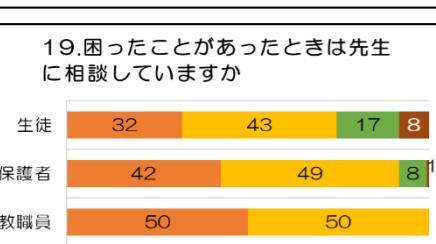
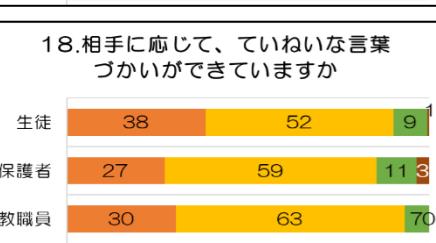
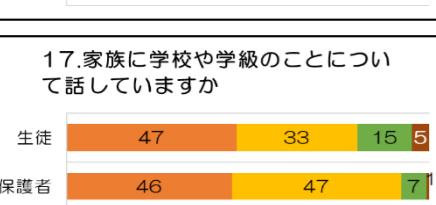
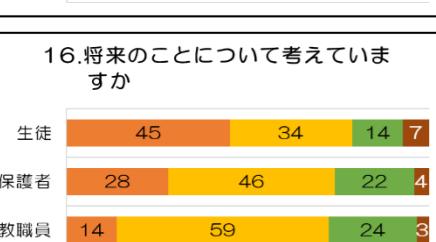
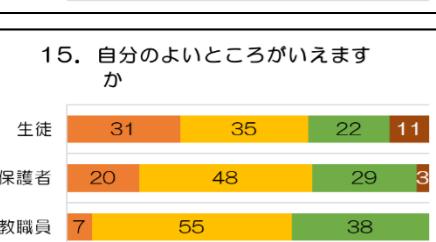
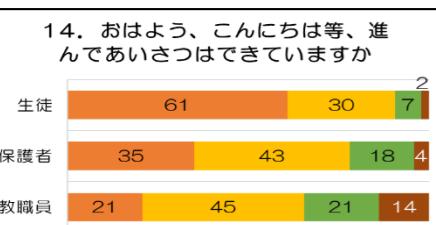
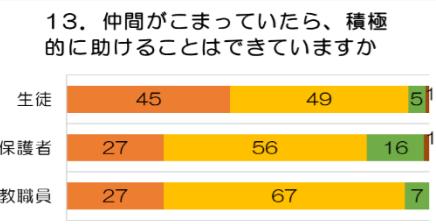


「12. 友達にいやなことをせず、相手の気持ちを考え行動していますか」

「13. 仲間がこまっていたら、積極的に助けることはできていますか」

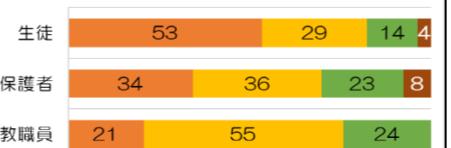
どちらも生徒の90%以上がプラスの回答でした。友達との関わりの中で、共によりよく学校生活を送るために、お互いを思いやり、協力していることがうかがえます。

日々の授業はもちろん、生活規律、学習規律を指導していくことで安心できる人間関係や環境が整い、他者への気遣いや思いやりの行動につながるところを考えています。学級活動、生徒会活動、行事、部活動等を通して互いを支え合う集団作りができるように日々の教育活動に力を注いでいきます。

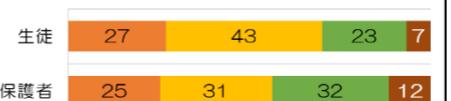


健やかな体の育成について

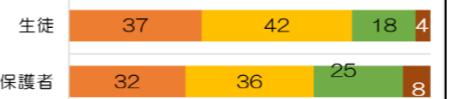
20. 外遊び、スポーツなどでよく体を動かしていますか



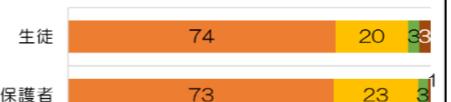
21. 「早寝」の習慣が身についていますか



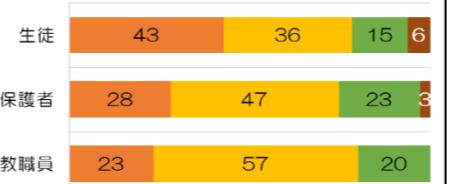
22. 「早起き」の習慣が身についていますか



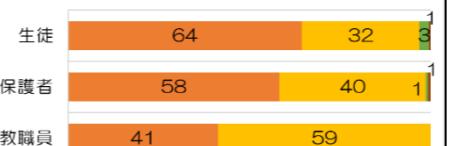
23. 「朝ごはん」の習慣が身についていますか



24. 好き嫌いをせず食事をしていますか



25. ルールやマナーを守って安全に登校していますか



20. 外遊び、スポーツなどでよく体を動かしていますか

外遊びやスポーツなどの運動習慣については、毎年少しずつ改善されています。今後も生徒の運動時間や体力については課題意識を持って、運動の機会を確保していかたいと思います。1stステージでは、ジャンプアップタイムを授業前に行い、大縄、ボール、遊具などを使って運動しています。いろいろな場面で運動できるように環境整備等をしていかたいと思います。

21. 早寝の習慣が身についていますか

22. 早起きの習慣が身についていますか

23. 朝ごはんの習慣が身についていますか

昨年度までは、「早寝、早起き、朝ごはん」をまとめた質問項目にしていましたが、今年度は分けて調査しました。

早寝については30%、早起きについては20%の生徒が習慣になっていないとの回答をしています。部活動、家庭学習、余暇など放課後以降に占める時間が多くなり、後に後に予定がずれて就寝が遅くなっていくかもしれません。Kノートや予定表を使って放課後の時間の使い方を整理して行動することや、動画視聴、ゲームなどの区切りをつけにくい娯楽などに使う時間を見直す必要もあるかもしれません。

朝ごはんを食べることはしっかりと「習慣」として身についているということが分かります。ご家庭でのサポートがあればこの結果です。ありがとうございます。

引き続き、けんこうの日や長期休業明けの生活調べでも規則正しい生活の大切に気付き、考える機会を作りたいと考えています。

◎自由記述について

自由記述にたくさんのご意見をくださいありがとうございます。その中には、日頃の学校教育へご理解いただいている記述もたくさんあり、本当に感謝しております。授業、GIGA端末（タブレット）の活用、行事、学校生活全般、配布物等についてのご意見もいただいております。その内容につきましては教職員で共有し、今後の学校教育活動に活かしていく所存です。

◎学校運営協議会より

教職員が「子どもたちは挨拶するようになってきた」と感じていることは、とてもうれしく思います。生徒が下校の時も、自転車に乗っていても挨拶をしてくれました。これからも、気持ちのよい挨拶ができるように学校運営協議会としても、子どもたちの心に響く取り組みを続けていきます。

「早寝、早起き、朝ごはん」の基本的生活習慣のサイクルが一つ崩れると、他にも影響があるので、子どもたちだけではなく、親も気を付けなければならないと思いました。

アンケートの結果から、学校は今後どのぐらいの目標値を目指すか決めておくことで、働きかけに対する変化が分かるので、よいのではないでしょうか。